

# はだの 農業委員会だより

第123号  
平成27年7月発行

編集・発行

秦野市農業委員会

〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号

TEL 0463-82-9654

E-mail noui@city.hadano.kanagawa.jp

## 梅雨入り前に 咲くクリの花



### ミツバチ

花粉や花蜜を集めるため、  
たくさんのミツバチが飛び交います。  
その花蜜とミツバチ体内の  
転化酵素が混ざって濃縮され  
たものが蜂蜜です。



クリの花とセイヨウミツバチ

### おもな内容

- |                       |     |                        |   |
|-----------------------|-----|------------------------|---|
| ■ 新農業委員紹介 -----       | 2・3 | ■ 平成27年度秦野市農業関係施策・予算 - | 6 |
| ■ 平成27年度全国農業委員会会長大会ほか | 4   | ■ 相談コーナーほか -----       | 7 |
| ■ 農家の声 -----          | 5   | ■ カメラスケッチほか -----      | 8 |

# 新農業委員 決まる!

任期満了に伴う農業委員の改選が行われ、6月21日付けで新しい農業委員に次の25名が決まりました。

任期は平成30年6月20日までです。皆さんよろしくお願いたします。

改選後、初の総会が、6月25日に開催されました。この総会において、互選により、会長には鳥海久元委員、会長職務代理者には北村彰委員が、それぞれ選出されました。

## 会長就任のあいさつ

秦野市農業委員会

会長 鳥海 久元

農業委員の改選に伴い、委員の皆様の推挙を頂き会長の重責に就任することになりました。大変重く受け止め、委員の皆様とともに農業者の皆様の期待、要望に応えていく思いです。

農業を取り巻く環境や情勢が驚くほど変化していく中で、農業をする人にとっては厳しい時代が続いているのが実情です。色々変化していく時代ですが、農業委員会の果たす役割は、農業者の代表として皆様方々の要望、意見を集約して的確に行政、関係機関に伝え、農業を取り巻く環境を良くしていくのが責務であると考えています。

農業委員会としても、耕作放棄地、荒廃農地、農家の担い手不足、また鳥獣被害は



とりのうみ ひさもと  
**鳥海 久元**  
公選  
名古屋312  
☎81-8462

以前から深刻な問題と感じています。このような問題には個人の力では限界があり、皆様の要望、意見を耳にして行政、関係機関に働きかけるのは農業委員会の責務であると思います。

また、国の施策によって農業委員会自体も改革をし、見直されようとしている中で、農業を取り巻く環境は様々な面で本当に変化していく時代になっていきます。

皆様方には農業委員会への更なるご支援、ご協力をお願いするとともに、より一層のご指導をよろしくお願いたします。

(議席順)



いづか かずひこ  
**飯塚 和彦**  
公選  
堀川695-□  
☎88-2146



くさやま みえこ  
**草山美重子**  
議会推薦  
平沢1414  
☎81-9833



みかわ よしじ  
**三川 吉次**  
公選  
曾屋5795-5  
☎81-8047



まつした いさお  
**松下 勲男**  
公選  
本町三丁目5-12  
☎81-6388



こみや ただよし  
**小宮 忠義**  
公選  
八沢1041  
☎88-1743



ひらい つよし  
**平井 剛**  
公選  
北矢名1257  
☎77-2108



さとう せい  
**佐藤 盛**  
公選  
鶴巻北三丁目2-38  
☎77-0108



やまぐち かつじ  
**山口 勝嗣**  
公選  
平沢2024  
☎81-7123



かざま まさこ  
**風間 正子**  
議会推薦  
渋沢三丁目13-8  
☎87-3897



やまぐち まさお  
**山口 政雄**  
農協推薦  
菩提242  
☎75-0277





こじま ゆみ  
**小島 有実**  
議会推薦  
上大槻768  
☎81-4525



きたむら あきら  
**北村 彰**  
公選  
堀山下868  
☎88-1640



いしはらこう たろう  
**石原耕太郎**  
公選  
渋沢2650  
☎88-5696



たかなしふく たろう  
**高梨福太郎**  
公選  
菩提1065  
☎75-0499



たに や あきら  
**谷屋 彰**  
公選  
下大槻532  
☎77-0294



いづか よしゆき  
**飯塚 義之**  
公選  
菖蒲1001  
☎88-1626



ふるや しげお  
**古谷 茂男**  
公選  
寺山398  
☎81-5751



おやまだ しげる  
**小山田 茂**  
公選  
三屋55  
☎75-0030



わだ ひろゆき  
**和田 厚行**  
議会推薦  
菖蒲1643  
☎88-7897



せきの しんいち  
**関野 進一**  
公選  
栢窪228  
☎88-2490



こみや しんじ  
**古宮 伸次**  
公選  
立野台一丁目15-9  
☎81-8975



おおつ としじ  
**大津 智司**  
公選  
羽根134-1  
☎75-1196



あんどう しょうへい  
**安藤 正平**  
公選  
蓑毛402  
☎82-3302



ふるや たもつ  
**古谷 保**  
公選  
東田原1375  
☎81-8911



秦野市農業委員会では、農業委員会の適正な事務実施を図るため、農業者等からの意見募集の結果を踏まえて、平成27年度の目標及び達成に向けた活動計画を決定しました。

### 平成27年度 農業委員会活動計画



当選証書付与式の様子

当選証書付与式は、6月9日に行われました。当選者には一人ひとり、選挙管理委員会委員長から当選証書が手渡されました。

#### ◎遊休農地の解消

日常的な農地パトロールや、利用状況調査により把握した遊休農地の所有者等への指導等により、遊休農地の解消を行います。

#### ◎認定農業者等担い手の育成及び確保

認定農業者制度の普及や同制度を活用した経営改善指導を拡大し、認定農業者等担い手育成及び確保を図ります。

#### ◎担い手への農地の利用集積

農地銀行制度や農地中間管理事業制度を利用し、認定農業者等担い手農家への農地の利用集積を図ります。

#### ◎違反転用への適正な対応

定期的な農地パトロールの実施により違反転用の未然防止、早期是正に努めるとともに、違反者に対する指導強化により違反転用の解消を図ります。

# 平成27年度 全国農業委員会会長大会

## 「新たな農業委員会制度の

## 確立に関する要請」など決議



大会の様子

5月28日、全国農業会議所が、東京都内の日比谷公会堂で、平成27年度全国農業委員会会長大会を開催しました。本市農業委員会会長をはじめ、全国から農業委員会の会長など約2000人が出席しました。

大会では、新たな農業委員会制度の確立に関する要請、新たな「基本計画」を実現する農政の確立に向けた政策提案、TPP交渉において国会決議の遵守を求める要請等を決議しました。

大会終了後には全国農業会議所が、農業委員会制度改革やTPP交渉における国会の対応について、農林水産省・政党関係者に対し代表要請を行いました。

## 平成27年度全国情報会議

4月8日、全国農業会議所が、東京都文京区の椿山荘で、平成27年度全国情報会議を開催しました。

情報活動功労者として、本市農業委員会の和田稔会長（当時）をはじめ県内では6農業委員が表彰されました。

また、全国農業新聞の普及に顕著な成績をおさめたとして本市農業委員会をはじめ県内では4農業委員会が表彰されました。なお、本市農業委員会は、年間平均150部以上、普及率5倍以上という成績でした。



県総代として賞状を授与される和田稔会長（当時）

## かながわ女性農業委員の会 第4回総会を開催

6月10日、横浜市内の産業貿易センターで、かながわ女性農業委員の会第4回総会が開催されました。

残念ながら、本市農業委員会からは出席ができませんでしたが、総会では、平成26年度の事業報告と平成27年度事業計画が承認されました。



総会の様子

## 農地基本台帳集計結果

平成27年度

(平成27年4月1日現在)

- ★農家戸数 **2,131戸**
- ★農業従事者数 **3,815人**
- ★経営農地面積 **1,254.2ha**

以下のような場合は必ず農業委員会事務局までご連絡下さい。

- 農地基本台帳に登録されている農家経営主が亡くなった場合
- 住所変更など登録事項に変更がある場合



# 農家の声



## 私の農家生活 (秦野草らし)

伊藤 小夜子 (菩提)



秦野に住んで5年が経ちました。11年前に新規就農した主人との結婚を機に、東京での仕事尽くめの生活に終止符を打ち、定住しました。

秦野は、山に囲まれ水が美味いなど、私が生まれた新潟と似たところがあり、心が休まる場所です。当初、農作業と一緒にやることに抵抗はありませんでしたが、主人は、私に農業をさせるつもりはなかったようです。でも、私は興味本意で畑に付いて行つては、毛虫に悲鳴を上げたり、一輪車をひっくり返したり、お手伝いどころか足手まといそのものでした。それで

も、畑仕事の爽快感と気持ちよさをいつも感じていました。

自然の許しを得て恵みを戴き、天候を受け入れ季節に沿って生活しているんだな、という感覚は、今も私が畑に向かう時の基本になりつつあります。

一昨年ほど前から、秦野市の農村レストランの活動に参加させてもらうようになり、農家の奥さん達のお話を直に聞く機会が増えました。一緒にお弁当作りをしたり、イベントで地域のお料理を作りながらの会話の中で、その季節の収穫の喜びを耳にして、そうそうと共感するとき、とても嬉しい気持ちになります。そして料理の丸秘レシピを聞くとき、とても得をした気持ちになります。代々の農家さんからは学ぶところが多く感心するばかりで、普段おしゃ

べりな私が無口になる場でもあります。

また、近頃は、会社員から農家になった主人の経歴を頼つてか、就農したい若者が研修に来るようになりました。

農家の跡取りとなる者やIT系企業を退職した者、ミュージシャン目指しを止めた者、自給自足を志す者など、彼ら

## 中山間地農家の憂い

関野 光治 (名古木)



農家の長男として生まれ、子供のころから農作業に駆り出されていました。当時秦野はタバコの栽培が盛んで、日本3大生産地の一つであり、我が家でも50アール程の栽培をしていました。昭和30年代になると秦野も都市化の波が押し寄せ、平坦の優良農地は工場や住宅に代わり、耕作地は中山間地が主体となり、耕作面積も減少の一途を

の経歴は様々で、目標とする農家スタイルも色々です。主人は、いつも「自立できる農家となれ」と話しています。私も、彼らの形にとられない発想は聞いていて楽しく、これからどんな農業をやるのか期待しています。

農業は、私の生活や人生を豊かにしてくれています。

ただつてきました。こうした中、労力の掛かるタバコ栽培は年々減少し、次第に温州みかんの栽培に注目が向けられるようになりました。当時のみかんは高値で取引され、中山間地のタバコ耕作者は、こぞつてみかん栽培に切り替えていきました。我が家でも最盛期には90アールまで栽培を増やしましたが、ミカン栽培の北限ということもあり、思うような品質のものが生産できませんでした。また、オレンジの輸入自由化の影響もあり価格も低迷してきました。家が農家ということから農業高校に入学しましたが、耕作地が中山間地で機械化もま

まならず、将来専業農家では生計が成り立たないと考え、就職も視野に入れ食品化学科を専攻しました。卒業後は製薬会社に就職し、土日休日は家業の農作業に従事する兼業農家としてスタートしました。就職した当時は、日本経済は高度成長期の真つ只中、所得倍増論もあり給料も倍々と増えていきました。従つて会社勤めが主体となり、農作業は段々と疎かになってきました。コメ作り、みかん栽培(50アール)は維持し現在に至っています。

政府は今、TPPだ規制改革だと、これまで培ってきた日本の農業形態に大鉈を振りかざそうとしています。少なくとも秦野の地域性、特に中山間地で農業を営んでいる私には、良い方向に進むとは思われません。農業者団体が猛反対する中、政府は着々と計画を推し進めています。私は、先祖伝来の農地を守り、里地里山の景観を維持管理しつつ、いわゆる百姓人生を全うしていきたい。

# 平成27年度 秦野市農業関係施策

「農業者と市民が育む、農のある快適なまち」の  
実現を目指して

本市の農業の特徴でもある多様な農産物の供給と、多面的な農地の機能を将来にわたり維持するために、農業者、市民、関係団体及び行政が一体となり、農業・農地がもたらす様々な恵みを生かした、農のある快適なまちづくりを推進します。  
お問い合わせ：①②⑤⑥⑦は、市農産課  
③④は、はだの都市農業支援センター まで

## ① 農業経営基盤強化の促進

本市の中核的な農業者である認定農業者等で組織する「秦野市認定農業者協議会」が実施する経営向上に向けた研修事業の実施や、経営規模拡大・農地集積に向けた資本整備への取り組みに対して、引き続き支援し、認定農業者の経営の安定化並びに育成を図っていきます。

## ② 「農」の担い手の育成

地域における「人」と「農地」の問題の解決に向け、「人・農地プラン」を推進するため、国の新規就農総合支援事業

## ③ 地産地消の推進

市民への安全・安心な農産物の供給と地場農産物への消費拡大を目指し、「地産地消プログラム」に基づき、生産者や消費者、商工業関係者、学校、食育・健康関係者などと一体となった幅広い地産地消活動の普及・定着を推進していきます。

## ④ 農産物ブランド化の推進

本市農産物の安全・安心を基本に、優良農産物として登録認証をすることにより、地場農産物を消費者に分かりやすく紹介し、生産者の生産意欲の向上と消費拡大の推進に努めます。

## 平成27年度

# 秦野市農業関係予算

農業振興費	54,593千円
園芸畜産費	10,706千円
農地費	57,497千円

## ⑤ 降雪災害に対する支援

昨年2月の大雪により被災した農業用施設等の復旧について、国や県と連携し、予算の繰越し措置を行い、施設の再建に向けた取り組みを引続き支援します。

## ⑥ 落ち葉堆肥等有機質資材の利用再開促進

東日本大震災以降、利用自粛となっている有機質資材について、放射性セシウムの濃度検査等の実施による利用再開に向けた取り組みを支援します。

## ⑦ 農業振興地域整備計画の見直し

現行計画の策定から13年が経過しており、新東名高速道路建設事業等の施行により計画変更の必要が生じているため、秦野農業振興地域整備計画の見直しを行います。最も基礎的な農業資源である農用地区域については、公益創出等特段の理由が無い限り、保全していく方向で考えています。

## 荒廃農地、遊休農地 解消に対する補助金

秦野市では、荒廃農地、遊休農地解消に対して補助金を出しています。この補助金を利用して荒廃農地、遊休農地を解消しましょう。

### ◎ 農地流動化整備事業

利用権の設定を行い、借り手として生産性の高い農地を管理します。  
※10アール当り6万円

### ◎ 荒廃農地解消対策事業

農地の適正な保全と有効利用をはかり、将来的には利用権を設定します。  
※10アール当り3万円

### ◎ 遊休農地解消対策事業

菜の花などの作付により地力の増進を図り、遊休農地を防止します。  
※10アール当り5万円

詳しくは、はだの都市農業支援センターまで、お問い合わせください。

電話 **81-7800**





**Q** 農地を相続しました  
が、農地法の手続きは必  
要でしょうか。

**A** 農地法第3条で許可を  
受けなければならないの  
は、農地等（農地又は採草放  
牧地）について所有権の移  
転、賃借権の設定・移転等を  
目的とする契約その他の行為  
です。相続は、人の死亡とい  
う事実の発生に基づいて生じ  
る法律上の当然の効果であっ  
て、その間に権利移転のため  
の行為があるわけではないの  
で、本条の対象とはなりません。  
また、遺産の分割も本条  
を適用しない規定となってい  
ます。

しかし、相続、遺産分割等  
許可を要しないで農地等の権  
利を取得した者（例外的場合  
は除きます。）は、遅滞なく  
同法第3条の3で農地等の存

する市町村の農業委員会にそ  
の旨を届出なければなりません。  
相続税の納税猶予を受ける  
ため、適格者証明願を提出し  
た場合でも、この届出と証明  
願は別ですので、忘れずにこ  
の届出はしなければなりません。  
なお、相続税の納税猶予  
についての詳しいことは、第  
120号（平成26年7月発  
行）をご覧ください。

**農業委員活動報告**  
（平成27年3月～6月）

●総会

3月25日、4月24日、  
5月25日、6月19日、  
6月25日

（主な審議案件と件数  
は下表のとおり）

●運営委員会

3月11日、4月14日、  
5月11日

●編集委員会

5月25日、6月19日

●全国情報会議

4月8日 東京都

●全国農業委員会会長大会

5月28日 東京都

■総会の主な審議案件と件数（3～6月）

審議案件	件数	面積
耕作目的の売買・賃貸（3条許可）	14件	17,284.00㎡
市街化調整区域内の転用（4・5条許可）	9件	6,722.75㎡
市街化区域内の転用（4・5条届出）	81件	36,858.26㎡
相続税納税猶予	4件	17,145.13㎡

支援センター通  
**「みそづくり」**  
**荒廃農地解消事業活動**

荒廃農地解消市民ボランティアの会と協働して行っている荒廃農地解消事業ですが、その活動の一環として、復元した西田原地内の農地を次の利用者が借りるまでの間、市立東小学校児童と一緒にダイズを栽培し、収穫後は、そのダイズでみそを手作りすることを予定しています。

写真は6月20日に児童が



**別段面積（下限面積）は40アール**

農業委員会は、毎年農地法第3条第2項第5号に規定する別段の面積（下限面積）を審議することとなっています。

手の耕作面積が、農地の権利移動後に最低限なければならない面積のことです。今年度の別段の面積（下限面積）は、4月24日開催の第4回総会において審議され、40アールと決定しました。

別段面積（下限面積）とは、農地法第3条の規定による農地の権利移動（所有権の移転、賃借権の設定・移転等）をする場合、受け





## 上地区農園ハイク 参加者多数で大盛況

6月6日に本市上地区で「上地区農園ハイク（主催・同実行委員会）」が実施されました。

農園ハイクとは、参加者が自然の中をハイキングしながら様々な農園「施設花卉（バラ）、果樹（極早生モモ）、露地野菜（ルバーク、ニンニクなど）」を廻り、これらの農園で収穫体験をすることです。

昨年に引続き2回目の今年は参加応募者が多く、お断りしなければならぬほど。

市内外から参加した140人が、農業者と東海大学生のボランティア17人の熱意の中で大いに楽しんだ、上地区が大盛況の一日でした。



極早生モモをもぎ取っている子どもたち

## 荒廃農地解消にヤギが大活躍！



カール…写真上、ヒマワリ…写真下（ともにオス5歳）

荒廃農地解消にヤギが大活躍しています。

ヤギは、放牧された農地の雑草を食べてくれるため、荒廃農地の解消になります。また農作物への獣害の軽減効果があるといわれています。もちろん、子どもたちにも大人気です。

このヤギたち、今は上地区で過ごしていますが、実は、そろそろ引越したいと、新しい飼い主を求めています。ただし、2頭一緒での飼育をお願いします。

なお、お申込み多数の場合は選考となります。

お問合せは、  
はだの都市農業支援センター  
（電話81-7800）まで。

### 事務局人事

（平成27年4月1日）

お世話になりました

前事務局長補佐

栗原 文雄

（退職）

安藤 裕幸

（債権回収課へ）

よろしくお願ひします

事務局長代理

内田 育孝

（学校教育課から）

尾上 武史

（資産税課から）

### 編集委員会

### 委員の紹介

◎委員長

古谷 保

○副委員長

平井 剛

●編集委員

三川 吉次

山口 勝嗣

石原 耕太郎

小島 有実

飯塚 義之

大津 智司

## ご愛読を 全国農業新聞

全国農業新聞は、最新の農業情勢の提供と解説、先進農家の経営紹介、農業入門など読んで役立つ情報が満載です。

- 毎週金曜日発行
- 購読料 月700円
- お申し込みは、地元の農業委員 または、農業委員会事務局まで

事務局 ☎82-9654

